

消防情勢



近年、各種災害は複雑多様化しており、消防に求められる役割はますます重要となっています。当消防本部では、火災予防の推進と各種災害への対応力強化に努め、地域住民の安全、安心の確保に取り組んでいます。

町長点検

令和7年4月3日

於：菰野町消防本部

菰野町の概要、位置図

菰野町は三重県の北西部に位置し、西は鈴鹿山脈を境に滋賀県、北はいなべ市、東と南は四日市市に隣接している。

町の約3分の1を占める山岳地帯は鈴鹿国定公園に指定されており、御在所岳、釈迦ヶ岳、鎌ヶ岳などは、多くのアルピニストに親しまれ、老若男女を問わず人気を集めるスポットである。

さらに霊山幽谷に出で湯を持つ湯の山温泉や雄大な眺めとスリルに富んだ御在所ロープウェイ、景勝を織りなす溪谷の数々や緑豊かな丘陵地など、菰野町は鈴鹿国定公園の玄関口としてふさわしい景観をもっている。

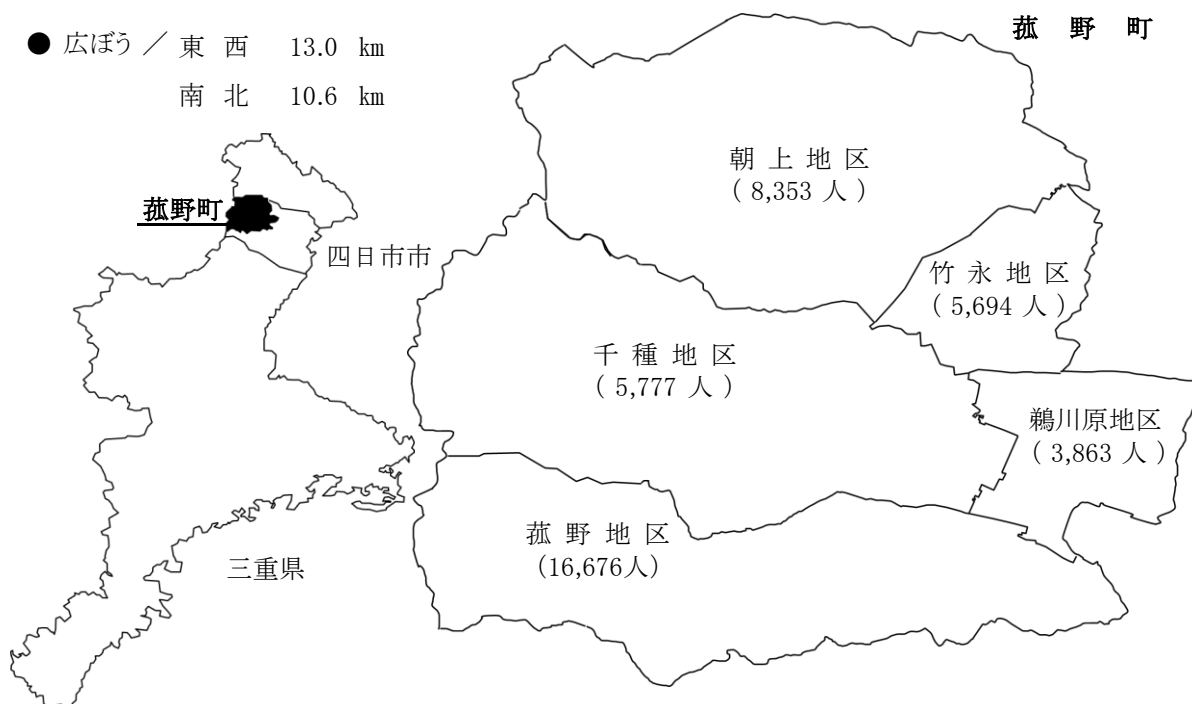
菰野町では、向かうべきまちの将来像に「支えあえる、安全で安心なまち」「豊かな自然を活かして人びとをひきつけるまち」「産業の発展と豊かな暮らしが循環するまち」「菰野らしい風景の中、子育てしやすいまち」の4つをあげ、「これらのことが、いつまでも、菰野町としてあり続けられること」を目指しています。

● 位置 / 北緯 35° 01' 43" (世界測地系) ● 人口 / 40,363 人
東経 136° 30' 25" (令和8.3.31現在)

● 面積 / 107.28 km² ● 世帯数 / 17,477 世帯
(令和8.3.31現在)

● 海拔 / 御在所岳 1,212 m (最高地)
役場(本庁舎) 77.1 m

● 広ぼう / 東西 13.0 km
南北 10.6 km



菰野町消防本部のあゆみ

昭和58年(1983)

9. 30 町議会に常備消防特別委員会設置

昭和59年(1984)

3. 5 自治省消防庁より昭和59年度における消防本部及び消防署義務設置町村政令指定（内定）を受ける。
7. 19 消防庁舎建設工事着工
8. 24 日本消防協会より救急車（2B型）の寄贈を受ける。
10. 21 役場庁舎において救急業務開始（総務課消防防災係16名）

昭和60年(1985)

1. 31 消防庁舎完成（コミュニティ防災センターを併設）
2. 14 消防庁舎において試行業務開始
- ※ 4. 1 **菰野町消防本部 消防署発足**
消防本部に消防課、予防課を置き、消防署に警防課を置く。
定数31名 車両5台
4. 2 消防庁舎竣工式及び開署式

昭和61年(1986)

3. 25 ポンプ車（CD－I型）購入
11. 19 普通貨物自動車購入

昭和62年(1987)

2. 26 はしご車（30m級）購入
10. 14 （社）日本損害保険協会より救助工作車の寄贈を受ける。
10. 28 広報車購入

昭和63年(1988)

4. 12 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
4. 21 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
7. 27 消防救助技術東海地区指導会水上の部（溺者救助）にて入賞する。
8. 19 全国消防救助技術大会水上の部（溺者救助）にて入賞する。

平成元年(1989)

1. 24 救急車（2B型）購入
4. 18 菰野ライオンズクラブより広報車の寄贈を受ける。

平成2年(1990)

8. 2 消防救助技術東海地区指導会水上の部（溺者救助）にて入賞する。
8. 24 全国消防救助技術大会水上の部（溺者救助）にて入賞する。

平成4年(1992)

4. 10 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
4. 23 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。

平成5年(1993)

12. 24 訓練塔敷地造成工事開始

平成6年(1994)

- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正（定数33名）
- 4. 8 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 27 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。

平成7年(1995)

- 2. 16 水槽付ポンプ車（水－ⅠA型）購入
- 3. 18 訓練塔竣工式
- 12. 22 消毒室完成

平成8年(1996)

- 3. 18 （社）日本損害保険協会より高規格救急車の寄贈を受ける。
- 4. 22 緊急消防援助隊旗の伝達を受ける。
- 12. 13 指令車購入
- 12. 20 菰野町職員定数条例（消防職員）改正（定数40名）

平成9年(1997)

- 4. 1 菰野町防災行政無線による広報を開始
- 5. 15 救急救命士が誕生

平成10年(1998)

- 2. 4 ポンプ車（CD－Ⅰ型）購入
- 4. 1 救急救命士業務運用開始
- 10. 15 携帯電話による119番通報受信業務を開始
- 11. 24 積載車購入

平成11年(1999)

- 1. 21 広報車購入
- 6. 2 救急救命士24時間体制開始
- 7. 27 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。
- 8. 19 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）に出場する。

平成12年(2000)

- 4. 14 三重県消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 4. 20 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。

平成13年(2001)

- 3. 7 高規格救急車購入
- 3. 10 新通信指令室の運用を開始

平成14年(2002)

- 4. 1 消防吏員服制規則改正

平成15年(2003)

- 8. 27 全国優良消防職員表彰を受賞する。
- 12. 6 救急医療功労者知事表彰を受賞する。

平成16年(2004)

- 4. 1 三重県防災航空隊へ職員1名を派遣(3年間)
- 9. 3～4 三重県緊急消防援助隊野営訓練及び合同訓練を菰野町で実施する。

平成17年(2005)

- 8. 3 救急救命士1名が気管内挿管講習及び実習修了
- 8. 8 携帯119番直接受信開始
- 10. 1 三重県内消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結

平成18年(2006)

- 2. 22 高規格救急車購入
- 4. 1 緊急消防援助隊登録
- 7. 13 救急救命士1名が薬剤投与追加講習及び実習修了

平成19年(2007)

- 1. 30 水槽付ポンプ車（水－ⅠA型）購入
- 7. 25 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。
- 8. 22 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。

平成20年(2008)

- 3. 9 救急救命士3名が薬剤投与追加講習及び実習修了
- 3. 14 救助工作車（Ⅱ型）購入
- 4. 11 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 17 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 8. 28 全国優良消防職員表彰を受賞する。
- 12. 12 査察車購入

平成21年(2009)

- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣(3年間)
- 6. 25 救急救命士1名が薬剤投与追加講習及び実習修了
- 8. 1 Eメール119番通報運用開始
- 11. 30 耐震性貯水槽第1号完成

平成22年(2010)

- 4. 9 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 16 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 12. 2 高規格救急車購入

平成23年(2011)

- 4. 27 火災時における消防活動業務の協力に関する協定を締結する。

平成24年(2012)

- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正（定数46名）
- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣(3年間)
- 4. 13 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得する。
- 4. 20 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得する。
- 8. 1 位置情報通知システム（統合型）導入
- 12. 27 広報車購入

平成25年(2013)

- 8. 21 全国優良消防職員表彰を受賞する。
- 11. 18 救急医療功労者知事表彰を受賞する。

平成26年(2014)

- 3. 24 はしご車（先端屈折式 30m級）購入
- 12. 5 ポンプ車（CD－Ⅰ型CAFS付）購入

平成27年(2015)

- 1. 31 資機材搬送車購入
- 4. 1 救命サポート事業開始
- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正（定数58名）
- 8. 26 消防支援隊発足（35名）
- 11. 26 高規格救急車購入

平成28年(2016)

- 4. 1 三重北消防指令センター運用開始
- 4. 1 三重県防災航空隊へ職員1名を派遣(3年間)
- 7. 26 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。
- 8. 24 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。

平成29年(2017)

- 3. 8 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。
- 11. 28 高規格救急車購入

平成30年(2018)

- 3. 7 消防庁長官表彰功労章を受章する。
- 6. 1 三重北消防指令センターにて多言語三者間同時通訳システム運用開始

令和元年(2019)

- 1. 31 三重県内高速道路等における消防相互応援協定を締結
- 8. 24 全国優良消防職員表彰を受賞する。
- 10. 1 三重北消防指令センターにてNet119緊急通報システム運用開始

令和2年(2020)

- 2. 28 小型動力ポンプ付水槽車（Ⅰ型）購入
- 3. 4 消防功労者消防庁長官表彰において竿頭綬を受章する。
- 3. 15 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。

令和3年(2021)

- 3. 10 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。
- 5. 19 患者等搬送事業認定制度開始
- 7. 20 三重北消防指令センターにて119番映像通報システム運用開始

令和4年(2022)

- 1. 11 水槽付ポンプ車（Ⅱ型）購入
- 3. 2 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。
- 7. 30 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。
- 8. 26 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞する。

令和5年(2023)

- 3. 10 消防庁長官表彰永年勤続功労章を受章する。
- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣(3年間)

令和6年(2024)

- 1. 11 高規格救急車購入
- 8. 1 救急情報伝送システム運用開始

令和7年(2025)

- 2. 13 査察車購入

令和7年中の主な行事

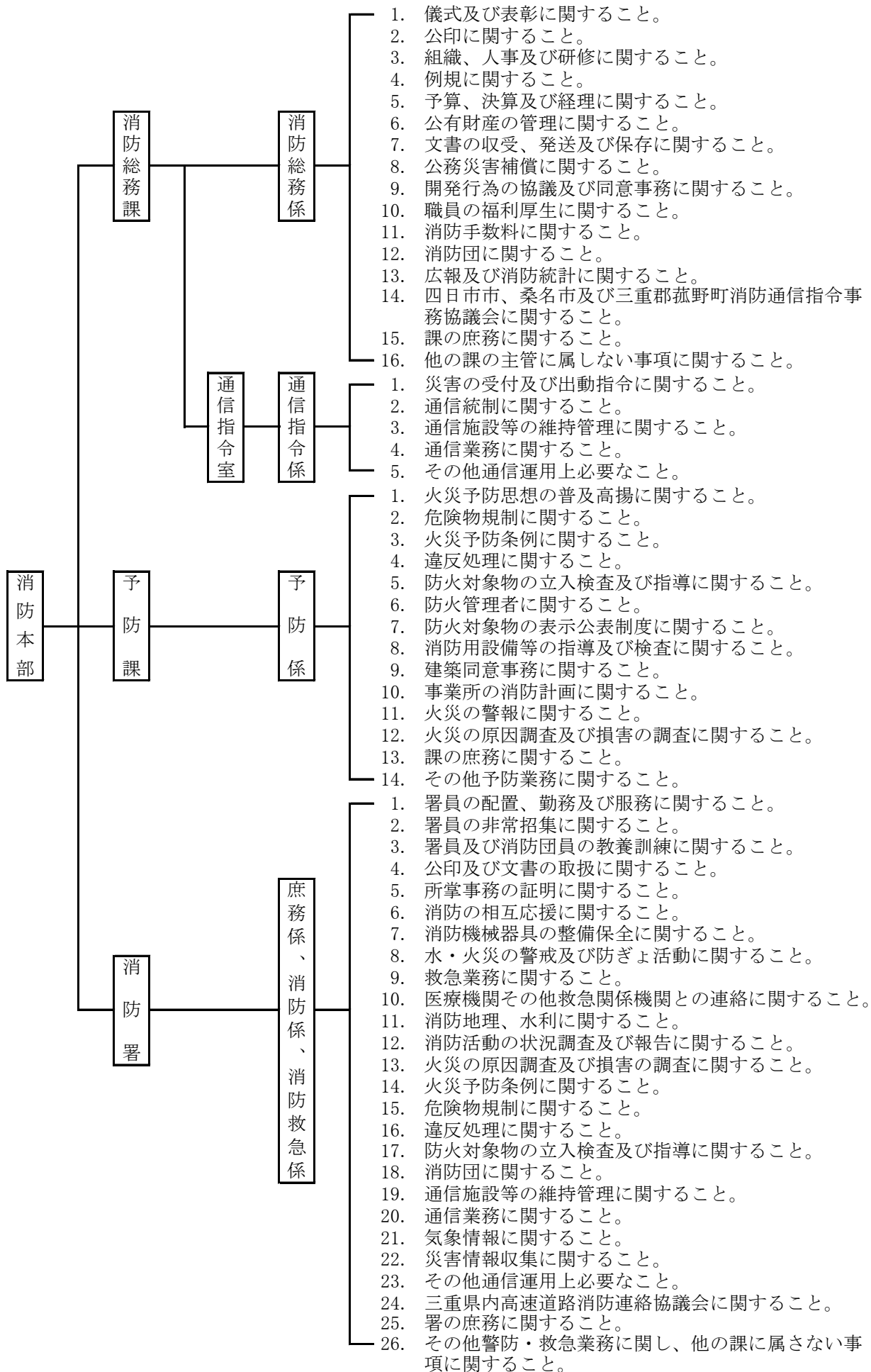
1. 12	消防出初式
1. 22	文化財防火運動に伴う特別消防訓練〔明福寺〕
2. 23	菰野町消防フェア〔イオンタウン菰野、町内一円〕
2. 27	春の火災予防運動に伴う特別消防訓練〔有料老人ホーム「あいのいろ」〕
3. 1～ 3. 7	春の火災予防運動
4. 6	消防辞令交付式〔農村環境改善センター〕
5. 18	菰野町水防訓練〔三滝川河川敷〕
5. 20	菰野町防火協会理事会総会〔千種地区コミュニティセンター〕
5. 28	危険物安全週間に伴う特別消防訓練 〔山九株式会社四日市支店北勢第3物流センター〕
6. 8～ 6. 14	危険物安全週間
6. 29	菰野町消防団夏期訓練〔菰野町庁舎北駐車場〕
7. 24	消防救助技術東海地区指導会〔三重県消防学校〕
8. 29	防災週間に伴う特別消防訓練〔湯の山温泉グリーンホテル〕
8. 30～ 9. 5	防災週間
8. 31	菰野町民総ぐるみ総合防災訓練〔町内一円〕
9. 7～ 9. 13	救急医療週間
9. 20～ 9. 21	消防自動車写生大会〔消防本部〕
10. 7	三重県消防職員警防技術交換会〔三重県消防学校〕
11. 9～11. 15	秋の火災予防運動
11. 9	秋の火災予防運動に伴う特別消防訓練 〔独立行政法人水資源機構 三重用水 菰野調整池〕
11. 26	集団救急事故対応訓練〔消防本部〕
12. 28～12. 31	年末特別警戒〔町内一円〕

歴代消防長

初代	大倉 二郎	自	昭和60年 4月 1日	至	昭和61年 3月31日
二代	田邊 正男	自	昭和61年 4月 1日	至	平成 3年 3月31日
三代	藤田 徹	自	平成 3年 4月 1日	至	平成 7年 3月31日
四代	石原 俊秀	自	平成 7年 4月 1日	至	平成11年 3月31日
五代	内田 芳隆	自	平成11年 4月 1日	至	平成13年 3月31日
六代	金津 正義	自	平成13年 4月 1日	至	平成16年 3月31日
七代	秦 隆	自	平成16年 4月 1日	至	平成18年 4月27日
八代	増田 幸生	自	平成18年 5月 1日	至	平成19年 3月31日
九代	川嶋 正典	自	平成19年 4月 1日	至	平成21年 3月31日
十代	内田 眞伸	自	平成21年 4月 1日	至	平成25年 3月31日
十一代	白木 康裕	自	平成25年 4月 1日	至	平成30年 3月31日
十二代	吉川 澄	自	平成30年 4月 1日	至	令和 3年 3月31日
十三代	山本 正春	自	令和 3年 4月 1日	至	令和 7年 3月31日
十四代	瀧見 浩志	自	令和 7年 4月 1日	至	令和 8年 3月31日
十五代	金津 貴史	自	令和 8年 4月 1日	現在に至る	

消防本部、消防署の組織、機構及び事務分掌

令和 8. 4. 1現在



消防予算(当初額)

(千円)

年度 \ 区分	常備消防費	非常備消防費	消防施設費	水 防 費	合 計
令和4年度	550,995	42,731	61,760	50	655,536
令和5年度	551,542	40,502	70,597	50	662,691
令和6年度	568,334	49,149	56,607	50	674,140
令和7年度	574,747	44,415	369,081	40	988,283
令和8年度	595,525	46,903	96,723	31	739,182

一般会計予算に占める消防費の割合(当初額)

年度 \ 区分	一般会計予算 (千円)	消防予算 (千円)	比 率(%)
令和4年度	13,300,000	655,536	4.9
令和5年度	13,660,000	662,691	4.9
令和6年度	15,280,000	674,140	4.4
令和7年度	15,990,000	988,283	6.2
令和8年度	16,843,000	739,182	4.4

消防費に対する人口、世帯当り額

年度 \ 区分	人 口 (人)	世 帯 (戸)	消防費 (千円)	人口1人当りの 消防費(千円)	1世帯当りの 消防費(千円)
令和4年度	41,390	16,964	655,536	16	39
令和5年度	41,189	17,126	662,691	16	39
令和6年度	40,931	17,281	674,140	16	39
令和7年度	40,657	17,437	988,283	24	57
令和8年度	40,363	17,477	739,182	18	42

消防力の整備指針と現有消防力の比較

(台)

車 両	消防力の整備指針による基準車両	基準数	現 有 車 両	現有数	比 較
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	水槽付消防ポンプ自動車 消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	0
	はしご付き消防自動車	1	はしご付き消防自動車	1	0
	化 学 消 防 自 動 車	1		0	△ 1
	救 急 自 動 車	3	高規格救急自動車(1) 高規格救急自動車(2) 高規格救急自動車(3)	3	0
	救 助 工 作 車	1	救 助 工 作 車	1	0
	指 揮 車	1	指 揮 車	1	0
	合 計	9	合 計	8	△ 1

(人)

人 員	消 防 力 の 整 備 指 針 に よ る 区 分 別 算 定		基準数	現有数	比 較	
	警 防 要 員	消 防 ポ ン プ 自 動 車 (1)	5人×3部制＝15人	69	42	△27
		消 防 ポ ン プ 自 動 車 (2)	4人×3部制＝12人			
		救 助 工 作 車	5人×3部制＝15人			
		救 急 自 動 車 (1)	3人×3部制＝ 9人			
		救 急 自 動 車 (2)	3人×3部制＝ 9人			
		指 揮 車	3人×3部制＝ 9人			
		救 急 自 動 車 (3)	(兼 務 運 用)			
		はしご付き消防自動車	(乗 換 運 用)			
		化学消防自動車【未配備】				
	通 信 員		3	3	0	
	予 防 要 員		5	4	△ 1	
そ の 他 の 人 員		4	9	5		
合 計		81	58	△23		

令和 8. 4. 1現在

職員階級別、所属別配置状況

令和 8. 4. 1現在

所属	階級 消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合 計
消防長、消防本部	1						1
消防本部消防総務課		3	3		1	3	10
消防本部予防課		2	2				4
消防署		2	14	6	8	12	42
町部局			1				1
合 計	1	7	20	6	9	15	58

職員階級別勤続年数状況

令和 8. 4. 1現在

勤続年数	階級 消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合 計
1年未満						3	3
1年						2	2
2年						1	1
3年						2	2
4年					1	2	3
5年						2	2
6年					2	1	3
7年							
8年					2	2	4
9年			1		1		2
10年					1		1
11年				1	1		2
12年				1			1
13年				1	1		2
14年							
15年				1			1
16年							
17年			1	1			2
18年			1				1
19年				1			1
20年			1				1
21年							
22年			2				2
23年							
24年			1				1
25年			2				2
26年			1				1
27年			2				2
28年		1	1				2
29年		1	2				3
30年							
31年							
32年		3	2				5
33年			1				1
34年		1					1
35年							
36年		1					1
37年							
38年	1		1				2
39年							
40年以上			1				1
合 計	1	7	20	6	9	15	58

職員階級別年齢状況

令和 8. 4. 1現在

年齢 \ 階級	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	合 計
18歳						1	1
19歳							
20歳						1	1
21歳						1	1
22歳						2	2
23歳						3	3
24歳						3	3
25歳						1	1
26歳						1	1
27歳						2	2
28歳					3		3
29歳					1		1
30歳					3		3
31歳					2		2
32歳							
33歳							
34歳				2			2
35歳				1			1
36歳				1			1
37歳				2			2
38歳							
39歳			2				2
40歳			2				2
41歳			1				1
42歳							
43歳			1				1
44歳			2				2
45歳			1				1
46歳							
47歳			1				1
48歳			1				1
49歳			1				1
50歳			3				3
51歳			2				2
52歳		1					1
53歳		2					2
54歳		2					2
55歳							
56歳	1	1					2
57歳		1					1
58歳							
59歳							
60歳							
61歳			3				3
62歳							
63歳							
合 計	1	7	20	6	9	15	58

平均年齢 38.2 歳

消防本部(署)庁舎の概要

令和 8. 4. 1現在

所在地	三重県三重郡菰野町大字潤田4418番地 (敷地面積:5,039.21㎡)					
区分	庁舎	仮設庁舎	訓練棟			車庫棟
	消防署	消防本部	主塔	副塔	倉庫棟	車庫棟
建設年	昭和60年竣工	平成26年竣工	平成7年竣工	平成7年竣工	平成7年竣工	令和2年竣工
構造	RC2階建	鉄骨2階建	RC4階建	鉄骨3階建	鉄骨2階建	鉄骨平屋建
建築面積	537.7㎡	114.4㎡	39.4㎡	38.6㎡	87.6㎡	53.4㎡
延床面積	858.4㎡	226.8㎡	129.6㎡	94.3㎡	175.2㎡	53.4㎡
1 F	528.1㎡	113.4㎡	32.4㎡	32.7㎡	87.6㎡	53.4㎡
2 F	309.3㎡	113.4㎡	32.4㎡	32.7㎡	87.6㎡	
3 F	(P.H) 21.0㎡		32.4㎡	28.9㎡		
4 F			32.4㎡			

現有消防車両

令和 8. 4. 1現在

車種 \ 区分	車名	規格等	登録番号	登録年月日	排気量 (cc)	車両総重量 (kg)	免許区分
はしご車	日野	30m級	三重800は1877	H26. 3. 19	8,860	19,120	大型
救助工作車	日野	Ⅱ型	三重800は1347	H20. 3. 13	7,680	12,000	大型
水槽付ポンプ車	日野	水-Ⅱ型 (災害対応)	三重830す2201	R 4. 1. 7	5,120	11,700	大型
小型動力ポンプ付水槽車	日野	Ⅰ型	三重830と2002	R 2. 2. 27	5,120	12,655	大型
ポンプ車	日野	CD-Ⅰ型 (CAFS付)	三重800せ 6	H26. 12. 4	4,000	6,755	準中型
救急1号車	日産	高規格 (災害対応)	三重830す2402	R 6. 2. 26	2,480	3,305	普通
救急2号車	日産	高規格	三重830す1711	H29. 11. 17	3,490	3,385	普通
救急3号車	日産	高規格	三重830せ1511	H27. 11. 17	3,490	3,395	普通
査察車	日産	ワゴン	三重800せ6102	R 7. 2. 13	1,590	2,190	普通
広報車	トヨタ	ワゴン	三重800す8616	H24. 12. 27	2,690	2,670	普通
資機材搬送車	いすゞ	2t 積	三重800せ 127	H27. 1. 29	2,990	4,905	準中型
救急予備車	日産	高規格	三重800す7167	H22. 12. 2	3,490	3,235	普通

通信施設状況

令和 8. 4. 1現在

	種 類	数量	備 考
菰野町消防本部、消防署	車 載 移 動 無 線 局 (デ ジ タ ル)	12局	菰野波1～2、四日市波1～4、桑名波1～3、統制波1～3 主運用波7、消防団波 ※広域応援用：主運用波1～6
	携 帯 移 動 無 線 局 (デ ジ タ ル)	16局	菰野波1～2、四日市波1～4、桑名波1～3、統制波1～3 主運用波7、消防団波 ※広域応援用：主運用波1～6
	消 防 団 車 載 移 動 無 線 局 (デ ジ タ ル)	11局	菰野波2、消防団波
	消 防 団 携 帯 移 動 無 線 局 (デ ジ タ ル)	11局	菰野波2、消防団波
	半 固 定 無 線 局 (デ ジ タ ル)	4局	こもの200【卓上型】 こもの201【可搬型】 こもの202【卓上型】 こもの203【卓上型】 役場災害対策室設置 菰野波1～2、四日市波1～4、桑名波1～3、統制波1～3 主運用波7、消防団波 ※広域応援用：主運用波1～6
	消防救急デジタル無線基地局 (活 動 波)	1局	活動波：みえきたしれいこもの（菰野波1～2） 【通信所】こものしょうぼう
	三重県消防救急デジタル無線基地局 共 通 波 (菰 野 中 継 所)	1局	みえきょうつうこもの（主運用波、統制波1～3） 【通信所】こものしょうぼう
	三 重 県 防 災 行 政 無 線 局	2局	衛星局、地上局
	携 帯 移 動 無 線 局 (署 活 動 用 携 帯 型)	36局	こもの310～339、341～343、こもの300～302 署活1～3
	デ ジ タ ル 簡 易 無 線 局 (携 帯 型)	15台	
	車 両 運 用 端 末 装 置 III 型 (A V M)	11台	LTE回線（デジタル無線連携）
	職員招集メール発信システム	1式	
	菰野町行政情報メール発信システム	1式	
	指 令 セ ン タ ー 用 内 線 電 話 機	1回線	三重北消防指令センター連絡用
	駆 付 け 通 報 装 置	1回線	三重北消防指令センターへ直接通報用（玄関前に設置）
	一 般 加 入 電 話	2回線 4ch	
	F A X	1回線 2ch	一般用、福祉用
	救 急 情 報 伝 送 シ ス テ ム	3台	
	救 急 車 積 載 携 帯 電 話	3台	
三重北消防指令センター	携 帯 電 話	3台	本部1、署1、指令センター連絡用1
	ド ロ ー ン 通 信 用 資 機 材	1台	
	I P 無 線 機	3台	
	電 子 黒 板	1式	三重北消防指令センターと情報共有可能
	報 知 電 話 (1 1 9)	14ch	固定電話、携帯電話、IP電話
	F A X 1 1 9	1台	
	N e t 1 1 9	2台	
	119 番 映 像 通 報 シ ス テ ム	1式	
	順 次 指 令 装 置	12ch	指令台連動
	消 防 テ レ フ ォ ン ガ イ ド	3ch	指令台連動 NTTひかりにより同時に3回線受信可能
	指 令 メ ー ル	1式	指令台連動 火災指令メール
	多 言 語 三 者 間 同 時 通 訳 シ ス テ ム	1回線	通訳センターを介した多言語三者間同時通訳
	ケ ー ブ ル テ レ ビ 消 防 情 報	1ch	指令台連動 CTY

※三重北消防指令センターは菰野町消防本部、四日市市消防本部及び桑名市消防本部が消防通信指令事務を共同運用しています。

消防水利状況

令和 8. 4. 1現在

水 利		地 区	菰 野	鵜川原	竹 永	朝 上	千 種	合 計
消 火 栓	管 径 50 mm 以 下		5		1		2	8
	管 径 75 mm		172	82	102	124	114	594
	管 径 100 mm		151	44	38	113	75	421
	管 径 150 mm 以 上		160	63	37	85	82	427
	合 計		488	189	178	322	273	1,450
防 火 水 槽	容 量 20 m ³ 未 満		3		3	7	2	15
	容 量 20 m ³ 以 上 40 m ³ 未 満		22	3	7	12	4	48
	容 量 40 m ³ 以 上		4	1	1	3	8	17
	耐 震 性 貯 水 槽 40 m ³		7	1	1	2	2	13
	耐 震 性 貯 水 槽 100 m ³		1	1	1	1	1	5
	プ ー ル		4	1	1	2	1	9
	合 計		41	7	14	27	18	107
自 然 水 利	河 川		51	17	13	74	63	218
	池		8	2	3	17	10	40
	合 計		59	19	16	91	73	258

各種研修実施状況

令和7年度

内 容	区 分	延 時 間	延 人 数	回 数
訓 育		1	12	1
法 学 一 般		4	2	1
地 理 及 び 水 利		373	352	124
火 災 予 防		162	281	82
勤 務 要 綱		112	210	63
消 防 行 動		10	28	4
消 防 戦 術		116	131	40
消 防 機 械		304	971	237
実 施 訓 練		961	2,462	413
訓 練 礼 式		9	160	10
救 急 学		1,797	1,126	426
体 育		83	3,349	365

外部研修等派遣状況

令和7年度

派遣	区分	科 目	期 間	人員
救急救命士研修所		救急救命士新規養成研修（東京研修所第69期）	R7. 9. 8～R8. 3. 9	1
消 防 大 学 校		救助科（第91期）	R7. 8. 27～R7. 10. 7	1
消 防 学 校		初任科（第62期）救急科 救急課程（第28期）	R7. 4. 7～R7. 12. 2	1
		特別科 指導救命士課程（第6期）	R7. 6. 2～R7. 6. 13	1
		救助科 救助課程（第35期）	R7. 9. 2～R7. 10. 3	1
		火災調査科 火災調査課程（第21期）	R7. 12. 8～R7. 12. 19	1
		特殊災害科 特殊災害課程（第11期）	R8. 1. 15～R8. 1. 23	1
		警防科 警防課程（第37期）	R8. 1. 26～R8. 2. 6	1
		中級幹部科（第32期）	R8. 2. 12～R8. 2. 20	1
		特別科 救急救命士ブラッシュアップ講習（第8期）	R8. 2. 17～R8. 2. 19	2
警 防		伐木等の業務に係る特別教育講習会	R7. 7. 2～R7. 7. 4	1
		酸素欠乏、硫化水素危険作業主任者技能講習	R7. 11. 19～R7. 11. 21	1
救 急		JPTECプロバイダーコース（外傷病院前救護研修）	R7. 8. 23、R7. 12. 13	3
		JPTEC更新コース（外傷病院前救護研修）	R7. 8. 23、R7. 12. 13	3
		MIELS（メディカルラリー）	R7. 10. 4	1
		救急コ・メディカルセミナー	R7. 10. 24	1
		MCLSコース（多数傷病者対応研修）	R7. 7. 12、R8. 1. 18	2
		PCECコース（意識障害病院前救護研修）	R7. 11. 7	2
		PEMECコース（救急隊員による疾病の観察処置の標準化）	R7. 11. 12	1
		新生児蘇生法講習会 P コース・病院前コース	R7. 11. 22	1
		全国救急隊員シンポジウム	R8. 1. 22～R8. 1. 23	1
救 助		全国山岳遭難対策協議会	R7. 7. 11	1
		SRT-1「スイフトウォーターレスキューテクニシャン」	R7. 5. 13～R7. 5. 15	1
		全国消防救助シンポジウム	R7. 12. 11	1
予 防		調査技術会議	R7. 6. 19	1
		予防技術講習会	R7. 7. 11	1
		違反是正研修会	R7. 8. 20	2
		火災調査研究発表会	R7. 10. 16	2
通 信 指 令		三重県通信指令員救急教育	R7. 5. 20～R7. 5. 21	1
		第8回通信指令シンポジウム	R8. 3. 14	1
そ の 他		大型自動車第一種運転免許取得	R7. 4. 23～R7. 8. 26	2
		無人航空機操縦者技能証明書取得	R7. 10. 31	1

応急手当普及啓発活動実施状況

菰野町消防本部では平成7年度から応急手当の普及啓発活動実施要綱に基づく普及活動を実施しており、止血法や固定法などを学ぶ救急講習、心肺蘇生法とAEDの取り扱い方法を学ぶ普通救命講習、各区や事業所などで普通救命講習を開催できる指導者を養成する応急手当普及員講習などを開催しています。

令和2年度～4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施回数が減少となっています。

区分 年度	救 急 講 習		普 通 救 命 講 習		応急手当普及員講習	
	回 数	受講者数	回 数	修了者数	回 数	修了者数
平 成 7 年 度	10	351	5	93		
平 成 8 年 度	16	330	7	78		
平 成 9 年 度	18	384	10	130		
平 成 10 年 度	12	310	8	90		
平 成 11 年 度	14	942	8	142		
平 成 12 年 度	14	382	11	206		
平 成 13 年 度	9	257	13	151		
平 成 14 年 度	9	396	24	408		
平 成 15 年 度	14	592	13	197		
平 成 16 年 度	17	828	16	263		
平 成 17 年 度	9	1,094	33	480	1	12
平 成 18 年 度	15	734	59	840	5	60
平 成 19 年 度	16	461	60	989	3	57
平 成 20 年 度	4	226	71	1,013	4	72
平 成 21 年 度	11	262	44	592	3	45
平 成 22 年 度	7	302	35	512	2	38
平 成 23 年 度	9	319	45	699		
平 成 24 年 度	11	468	39	628	2	26
平 成 25 年 度	6	276	37	571	1	29
平 成 26 年 度	17	459	45	564	3	28
平 成 27 年 度	21	526	47	636	3	42
平 成 28 年 度	12	427	42	555	3	19
平 成 29 年 度	17	671	45	577	3	17
平 成 30 年 度	8	172	40	541	3	22
令 和 元 年 度	16	249	37	480	2	11
令 和 2 年 度	3	37	12	66	6	26
令 和 3 年 度	1	20	21	74	2	3
令 和 4 年 度	12	270	24	178	2	2
令 和 5 年 度	24	464	28	237	1	3
令 和 6 年 度	25	869	37	401	2	14
令 和 7 年 度	29	642	35	329	2	22
合 計	406	13,720	951	12,720	53	548

自主防災組織

令和 8. 4. 1現在

(1) 婦 人 消 防 隊	菰野地区婦人消防隊 (昭和43年4月21日結成	363 人)
	鵜川原地区婦人消防隊 (昭和40年3月20日結成	72 人)
	竹永地区婦人消防隊 (昭和58年6月 1日結成	73 人)
	朝上地区婦人消防隊 (昭和42年4月 1日結成	110 人)
	千種地区婦人消防隊 (昭和57年4月21日結成	114 人)
合計 5 隊 総員 732 人		

(2) 自 警 団

合計 32 団 総員 669 人

菰 野 地 区	神 野 明 区 (14 人)
	菰 野 第 一 区 (37 人)
	菰 野 第 三 区 (141 人)
	宿 野 区 (17 人)
	福 村 区 (10 人)
	神 森 区 (14 人)
計 6 団 総員 233 人	

鵜 川 原 地 区	大 強 原 区 (14 人)
	下 村 区 (15 人)
	川 北 区 (15 人)
	池 底 区 (2 人)
	吉 沢 区 (10 人)
	諏 訪 区 (9 人)
計 6 団 総員 65 人	

竹 永 地 区	永 井 区 (38 人)
計 1 団 総員 38 人	

朝 上 地 区	杉 谷 区 (17 人)
	榊 区 (13 人)
	松 涛 園 区 (13 人)
	小 島 区 (15 人)
	田 口 新 田 区 (19 人)
	美 山 区 (40 人)
	田 口 区 (9 人)
	日 丘 区 (22 人)
	切 畑 区 (5 人)
	一 本 木 団 地 (6 人)
	青 葉 台 区 (8 人)
計 11 団 総員 167 人	

千 種 地 区	千 草 区 (19 人)
	音 羽 区 (10 人)
	潤 田 区 (34 人)
	三 滝 園 区 (39 人)
	岡 区 (9 人)
	福 松 区 (10 人)
	奥 郷 区 (10 人)
	江 野 区 (35 人)
計 8 団 総員 166 人	

緊急避難所

令和 8. 4. 1現在

区 名	名 称	所 在 地	電話番号	収容人数
神 明	グリーンホテル	大字千草7054-173	059-392-3111	40
	神明区公所	大字菰野8475-22		32
大 羽 根 園	大羽根園自治会公所	大羽根園並木通4	059-394-1884	62
菰 野 第 一 区	菰野第一区第一公所	大字菰野9007	059-393-2116	29
菰 野 第 二 区	菰野第二区公民館	大字菰野2203-1	059-394-0940	80
菰 野 第 三 区	南部公民館	大字福村148		128
	第三区民栄会館	大字菰野1419-8	059-394-0986	50
	川原町集会所	大字菰野1778		18
宿 野	宿野公所	大字宿野230-1	059-394-0913	65
福 村	福村公所	大字福村272	059-394-2744	56
神 森	神森集落センター	大字神森705	059-394-1984	33
大 強 原	大強原公所	大字大強原3482-1	059-394-6237	47
下 村	下村公所	大字下村2166-3		48
川 北	川北公所	大字川北563	059-393-2074	81
池 底	池底集落センター	大字池底1152	059-394-1127	41
吉 沢	吉沢集落センター	大字吉沢1792-2		44
諏 訪	諏訪公所	大字諏訪3822	059-394-2904	63
竹 成	竹成区公所	大字竹成2116	059-396-1880	78
永 井	永井集落センター	大字永井3832	059-396-1707	34
田 光	田光公所	大字田光2066	059-396-0127	90
杉 谷	杉谷公所	大字杉谷776-1	059-396-2319	66
榊	榊公所	大字榊303		16
松 涛 園	松涛園公所	大字小島417-185		36
小 島	小島集落センター	大字小島1687-1		33
田 口 新 田	田口新田公所	大字田口新田2256		42
美 山	美山区公所	大字田口新田232-32		13
田 口	田口公所	大字田口2495		56
日 丘	日丘区公所	大字田口新田117-66		16
切 畑	切畑公所	大字切畑720		13
根 の 平	根の平公所	大字根の平114-1		10
一 本 木 団 地	一本木公所	大字榊895-44		24

令和 8. 4. 1現在

区 名	名 称	所 在 地	電話番号	収容人数
青 葉 台	青葉台公会所	大字杉谷1572-187		39
	(株)マキテック三重工場	大字千草4633-9		87
千 草	千草公会所	大字千草2763		50
	千草区区民センター	大字千草2510		26
音 羽	音羽公会所	大字音羽585-1		31
潤 田	潤田集落研修センター	大字潤田499	059-394-1430	79
三 滝 園	三滝園公会所	大字潤田650-177		26
岡	岡公民館	大字千草4127-10	059-393-4193	56
福 松	福松構造改善センター	大字千草5364-16	059-394-5194	42
奥 郷	奥郷構造改善センター	大字千草6368-2	059-394-3773	43
江 野	江野区公会所	大字千草7045-897	059-392-2105	37

収容人員＝有効スペース3㎡×1人

風水害時における緊急避難所を補完する施設

令和 8. 4. 1現在

地 区 名	名 称	所 在 地	電話番号	収容人数
菰 野 地 区	菰野地区 コミュニティセンター	大字菰野1418	059-394-5333	21
朝 上 地 区	朝上地区 コミュニティセンター	大字田光4291	059-396-0001	22
千 種 地 区	千種地区 コミュニティセンター	大字千草3851	059-393-2052	18

収容人員＝有効スペース(和室) 3㎡×1人

※緊急避難所を補完する施設とは、緊急避難所で受け入れ出来ない避難者及びキャンプ場宿泊者等を受け入れる場合に利用する。

収容避難所

令和 8. 4. 1現在

地 区 名	名 称	所 在 地	電話番号	収容人数
菰 野 地 区	菰野町B&G海洋センター	大字菰野4775-1	059-394-3177	381
	菰野小学校	大字菰野1490	059-393-2006	288
	菰野中学校	大字菰野1192	059-393-2122	357
	菰野高等学校	大字福村870	059-393-1131	382
鵜 川 原 地 区	鵜川原小学校	大字大強原913	059-393-2118	183
竹 永 地 区	竹永小学校	大字竹成2593-5	059-396-0009	198
朝 上 地 区	朝上小学校	大字田光66	059-396-0004	294
	八風中学校	大字田光3808-18	059-396-0012	338
千 種 地 区	千種小学校	大字千草3861	059-394-2590	333

収容人員＝体育館等3㎡×1人

収容避難所を補完する施設

令和 8. 4. 1現在

地 区 名	名 称	所 在 地	電話番号	収容人数
菰 野 地 区	菰野こども園	大字菰野2098	059-393-2135	27
	菰野西こども園	大字菰野8870	059-394-0884	54
	菰野東こども園	大字菰野1485	059-393-1179	78
鶺 川 原 地 区	鶺川原こども園	大字大強原829-1	059-393-2405	38
竹 永 地 区	竹永幼稚園 竹永保育園	大字永井59	059-396-0527	56
朝 上 地 区	朝上こども園	大字田光3306-2	059-396-0114	44
	北部子ども子育て支援拠点施設	大字田光4293	059-396-0707	41
千 種 地 区	千種幼稚園 千種保育園	大字音羽2240	059-393-2406	58

※収容避難所を補完する施設とは、収容避難所の収容能力を超える被災者を受け入れる場合に利用する、隣接の保育園、幼稚園、こども園等である。